

# 第19回(住)(宅)(系)研究報告会

## 2024年11月29日(金)、11月30日(土)

会場：建築会館 日本建築学会・会議室 (東京都港区芝5丁目26番20号) 【要申込】

住宅・住宅系まちづくり研究にかかわる横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流を目的に、第19回住宅系研究報告会を開催します。本年度は33編の優れた論文が集まりました。研究報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを目指しています。また、一日目にパネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。住宅・住宅系まちづくりの研究・実践に取り組む方々のご参加をお待ちしています。

### ■1日目(11月29日)

10:00～10:10 開会の挨拶 宮原真美子(佐賀大学)

10:10～11:55 セッション1 **生活空間の構成と変容**  
司会：高道昌志(東京都立大学)、コメンテーター：益尾孝祐(愛知工業大学)

13:00～14:15 セッション2 **居住地の持続可能性とコミュニティ**  
司会：益尾孝祐(愛知工業大学)、コメンテーター：松浦健治郎(千葉大学)

14:30～15:45 セッション3 **空き家・不動産の流通**  
司会：後藤智香子(東京都市大学)、コメンテーター：碓田智子(大阪教育大学)

16:00～18:00 **住まいのコモニング** —住宅の私有化・商品化を乗り越える  
パネルディスカッション

パネリスト：松村淳(神戸学院大学)  
田中康裕(合同会社Ibasho Japan)  
後藤智香子(東京都市大学)

コメンテーター：藤岡泰寛(横浜国立大学)  
関川華(近畿大学)

趣旨説明：前田昌弘(京都大学)

まとめ：宮原真美子(佐賀大学)

企画・コーディネート：住宅系研究報告会 建築計画委員会・幹事

### ■2日目(11月30日)

10:00～11:15 セッション4 **住まいづくりの担い手・支援**  
司会：内海康也(国土技術政策総合研究所)、コメンテーター：長谷川洋(国土技術政策総合研究所)

11:30～12:45 セッション5 **住まいの修繕・改修とその評価**  
司会：関川華(近畿大学)、コメンテーター：高井宏之(名城大学)

13:45～15:15 セッション6 **被災による生活の変容と支援**  
司会：林和典(近畿大学)、コメンテーター：友淵貴之(宮城大学)

15:30～17:15 セッション7 **住宅ストックの活用・再生**  
司会：深井祐紘(明星大学)、コメンテーター：藤岡泰寛(横浜国立大学)

17:15～17:25 閉会の挨拶 関川華(近畿大学)

■参加費：会員2,500円、会員外3,850円、学生(会員)1,000円、学生(会員外)1,100円 (会期中一度のお支払いで、資料別売(PDF・CD-R)：3,000円) ■定員：80名(申込先着順)／申込締切11月26日(火) 両日とも参加可能です  
[https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2024/2024\\_19jyutakukei.pdf](https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2024/2024_19jyutakukei.pdf)

手話通訳等の個別支援について：ご視覚・聴覚・言語その他コミュニケーションに関する身体的な機能障害者へのサービスの提供を検討いたします。報告会での発表、並びにパネルディスカッションへの参加にあたり、手話通訳や要約筆記など、何らかのサービス提供が必要な方は、その旨、11月14日(木)までに下記問合せ先にご連絡ください。なお、サービスの可否と制限については、申請状況や予算を勘案のうえ、後日、結果を通知いたします。



# 住まいいの コモニング 住宅の私有化・商品化を乗り越える

近年、居場所づくりの取り組みが盛んである。2010年代以降、市民による子ども食堂等の地域の居場所づくりは急増しており、また、建築家が自身のアトリエの一部を開放するなど、私的な領域を開く、いわゆる「住み開き」も行われている。一方で、物価の上昇や市場経済の一層の浸透、外部サービスへの依存により住宅の私有化・商品化が進み、住宅は身近な存在でありながらどこか私たちの手から離れ、手の届かない存在になってきてはいないだろうか。近年の居場所づくりのムーブメントは、このような「住宅からの疎外」へのある種の抵抗とも言えるかもしれない。

コモニングとは、コモンズ（共有資源）そのものとコモンズを編み直し続ける実践、そしてそれを取り巻く関係性を指し示す用語である。本パネルディスカッションでは、「住宅からの疎外」に対するコモニングとは何か、制度で担保できる／できないコモニングとは、コモニングを受容する社会の側に求められる態度とはなど、具体的な実践と理論の両面から議論し、住まいをもう一度ひらかれたものにする手立てについて議論したい。

2024  
11・29  
fri 16:00  
～  
18:00

講演

松村 淳（神戸学院大学）

田中 康裕（合同会社 Ibasho Japan）

後藤 智香子（東京都市大学）

司 会：深井 祐紘（明星大学）

趣旨説明：前田 昌弘（京都大学）

コメント：藤岡 泰寛（横浜国立大学）

関川 華（近畿大学）

まとめ：宮原 真美子（佐賀大学）

参加費：会員 2,500 円  
会員外 3,850 円  
学生 1,000 円  
学生（会員外） 1,100 円

\*参加費は2日間の報告会参加費を含みます

\*手話通訳等の個別支援が必要な方は、11/14（木）までに [jyutakukei@aij.or.jp](mailto:jyutakukei@aij.or.jp) までお問い合わせください。

定員：80名（申込先着順）  
申込締め切り：11月26日（火）  
申込方法：クレジットカードによるWeb事前申込み  
<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=702334>